

22 練児保第 10065 号
平成 22 年 10 月 12 日

練馬区長 志村 豊志郎 様

練馬区立保育園運營業務委託事業者選定委員会委員長
健康福祉事業本部児童青少年部長 中村 哲明

練馬区立光が丘第六保育園運營業務委託事業者選定について（報告）

練馬区立光が丘第六保育園運營業務委託事業者を下記のとおり選定しましたので報告します。

記

練馬区立光が丘第六保育園運營業務委託事業者
社会福祉法人 雲柱社
東京都世田谷区上北沢三丁目 8 番 19 号
法人設立 昭和 28 年 7 月 29 日
理事長 服部 榮

練馬区立光が丘第六保育園運営業務委託審査採点表

総合採点表

	配点	(福)雲柱社	
A 提案書等による審査	520	390.0	75.0%
B 現地調査による審査	240	181.2	75.5%
C 園長候補者等ヒアリングによる審査	240	183.6	76.5%
合 計	1,000	754.8	75.5%

[選定の経過]

練馬区立保育園運営業務委託事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、光が丘第六保育園に応募のあった1事業者について、平成22年7月22日（木）の第1回選定委員会開催から、事業者によるプレゼンテーション、園長候補者等に対するヒアリング、および選定委員による現地調査を経て、10月8日（金）の事業者選定に至るまで計6回の会議を行った。

- 1 平成22年7月22日（木）の第1回目の選定委員会では、選定委員会の役割と位置づけ、および選定委員の合議により事業者を決定することとする「選定方針」を確認するとともに、練馬区立保育園の保育水準について説明を受けた。
- 2 平成22年7月23日（金）～29日（木）の第2回選定委員会では、選定委員による光が丘第六保育園の視察を行った。
- 3 平成22年9月7日（火）の第3回選定委員会では、応募事業者については、1事業者から応募があったと報告を受けた。
また、応募事業者の運営する保育施設を実地に調査するため選定委員会の下に設置した区立保育園長、保育課支援調整係（係長・次席）および保育課栄養指導担当係長で構成する「現地調査部会」の調査報告および税理士による事業者の経営診断の結果の報告を受けた。
- 4 平成22年9月12日（日）の第4回の選定委員会では、光が丘第六保育園の保護者が参観する中、事業者のプレゼンテーションを実施した。
その後、選定委員による園長候補者と事業者へのヒアリングを行った。
- 5 平成22年9月6日（月）～15日（水）の第5回の選定委員会では、選定委員による各事業者の運営する保育園の視察を行った。
- 6 平成22年10月8日（金）の第6回の選定委員会では、評価結果については、合議体として結論を出すこととし、各委員の評点状況に基づき項目ごとに評点とすることについて確認した。
「A 提案書等による審査」、「B 現地調査による審査」、「C 園長候補者等ヒアリングによる審査」の順に、審査基準表（採点表）の評点分布を見ながら論議を行った。

事業者についての主な意見・指摘等は、次のとおり。

選定について

- ・ 委託事業者を選定する趣旨からいって、応募事業者が1事業者であっても絶対評価をし、良い評価であれば選定することは当然である。

事業者について

- ・ 地域との関わり、子育て支援、障害保育などは評価できる。
- ・ これからの保育園のあり方を見据えた運営を行っている。
- ・ 委託園に対する事業者の支援を期待できる。
- ・ 死亡事故のあと、再発防止にしっかりと取り組んでいることは評価できる。

園長候補者について

- ・ 園長候補者は主任経験しかないが、保育の実践者としての細やかな捉え方をしているところが評価できる。これからの園長としての成長に期待する。

事業者に対する要望について

- ・ 良い園というのは、園長が保護者と良い関係を作る試みをしている。保護者とどのようにコミュニケーションをとるか、信念を持って取り組んでほしい。
- ・ 新人職員の育成は、研修計画をしっかりと作って力を注いでほしい。

総合的な評定から、障害児保育や子育て支援への取り組みなど評価でき、また、法人本部の支援体制も期待できことから、「社会福祉法人 雲柱社」を光が丘第六保育園の運営を委託する事業者として選定した。